

平成 29 年 11 月 29 日

各 位

会 社 名 ファーストブラザーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉原 知紀
(コード番号：3454 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 堀 田 佳 延
(TEL. 03-5219-5370)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 1 月 13 日に公表した平成 29 年 11 月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 11 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円				円 銭
前回発表予想 (A)	18,072	4,107	3,687	2,396	171.04
今回修正予想 (B)	18,744	3,309	2,982	1,972	140.74
増減額 (B - A)	672	△797	△704	△424	—
増減率 (%)	3.7	△19.4	△19.1	△17.7	—
(参考) 前期連結実績 (平成 28 年 11 月期)	14,606	3,966	3,662	2,287	162.33

(注) 当社は、平成 29 年 9 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり当期純利益を算定しております。

2. 修正の理由

当社グループは、オフィスビル、店舗ビル、賃貸マンションなど、多数の不動産投資案件（賃貸不動産）を保有しポートフォリオを構成することにより、かかる賃貸不動産ポートフォリオから安定した賃貸収益を得ておりますが、その構成物件の入れ替えとして、バリューアップが完了した物件など一部の不動産投資案件を売却しております。不動産投資案件の売却額は賃貸収益に比べ大きいため、当社グループの売上高及び各段階利益は、売却時に多額に計上される傾向があ

り、売却時期に大きく影響を受けます。また、不動産投資案件の売却時期は、売買の相手先の意向等にも影響されるため、売却時期が見込みどおりにならない場合には、当社グループの連結業績は大きく変動する可能性があります。さらには、不動産投資案件毎に売却時の利益率が異なるため、当社グループの連結業績の売上に対する各段階利益率も比較的変動しやすいものとなっています。

当期については、期中に売却した不動産投資案件の中に、来期以降に売却を予定していた利益率が相対的に低い不動産投資案件があった一方で、当期中に売却を予定していた利益率が相対的に高い不動産投資案件の売却時期が来期にずれ込む見込みであることから、売上高は前回発表予想値を上回る一方で、各段階利益が前回発表予想値を下回る見通しとなりました。

なお、当期中の売却を予定していた利益率が相対的に高い不動産投資案件の売却に伴う売上及び利益は、当期の業績には寄与しないものの来期の業績に上乘せされる見通しです。

3. 配当予想

平成 29 年 11 月期の配当予想の変更はありません。当社の 1 株当たり年間配当金は、平成 30 年 2 月上旬に支払予定の期末配当金 15 円 00 銭となる予定です。

※上記の業績予想数値につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上